

2025年4月より「IVR外来」から「IVRセンター」へ。新しい名称で再出発いたします。

IVRセンター診療のご案内

CENTER of INTERVENTIONAL RADIOLOGY

IVRとは？

IVRとは、インターベンショナルラジオロジーの略で、直訳すると放射線診断医による治療介入手技のことです。

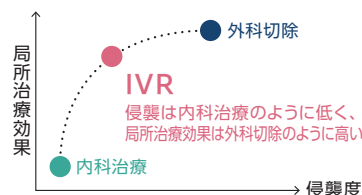
英語圏では、「Interventional Radiology; IR」と略され、正式な日本語訳は、「画像下治療」になりますが、IVRという言葉の方が多く使われているため、当院でもIVRセンターとしました。

放射線診断医は画像のスペシャリストです。画像の活用に関して熟知しているため、簡単にご説明すると、解剖学的構造を画像で理解→画像誘導下にて針やカテーテルなどを様々な経路を介し誘導→高度なデバイスを駆使→必要最小限の侵襲で最大の効果を達成する治療ということになります。



治療方針

IVRは針やカテーテルなどを使う低侵襲局所療法で、一般論ではありますが、侵襲度は薬物を使う内科治療に近く、局所治療効果は外科切除に匹敵する場合もあります。非常に理想的な治療と言えますが、最大の弱点は、適応判断がわかりにくいという点です。そのため、当院のIVRセンターの適応となる病態・疾患を示しますので、ご参考ください。



IVRは、血管を刺す**血管系IVR**、血管以外を刺す**非血管系IVR**に分類されますが、目的別に…

抗腫瘍

抗出血

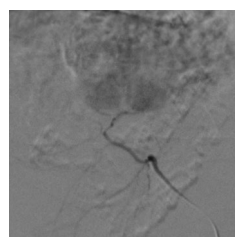
抗症状(緩和IVR)

などに分類した方が分かりやすいため、今回は上記にて分類します。

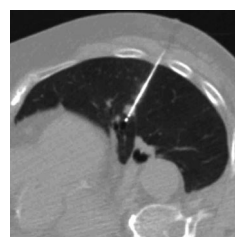
抗腫瘍IVR (Interventional Oncology)

肝細胞癌はIVRに最も馴染みの深い癌で、標準治療の一つであるTACEはIVRの代名詞の一つとなっています。近年、肝細胞癌治療は複雑化しており、当IVRセンターでは、消化器内科とも連携し、TACEのみならず、Ablation、動注療法、薬物療法などを取り扱います。また、肝転移に対しても、同様の治療を行うことが可能です。

原発性肺癌、肺転移に関しては、近年RFA治療が承認されたため、呼吸器外科と連携し、肺RFAが可能です。転移の場所が深く、切除すると広範囲の肺切除を必要とするような症例が良い適応です。また、切除+RFAという選択枝もベストマッチです。是非、ご紹介ください。



HCC TACE



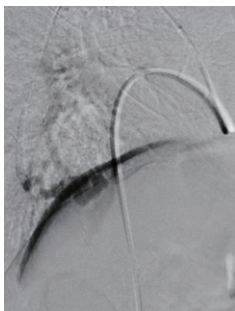
肺RFA

抗出血 (Vascular intervention)

出血や出血予防のために血管を塞栓(TAE)出来ます。

TAEは咯血に対する最も信頼出来る治療法です。

また、術後出血や消化管出血、
穿刺後出血など、出血に対する
TAEや、内臓動脈瘤や肺AVMに
対するTAEにも非常に有効な
手段です。



肺AVM TAE



咯血TAE (BAE)

抗症状 (緩和IVR)

近年、癌性疼痛などの症状緩和に関してIVR手技が有効であることが報告されています。薬物療法とは機序が異なるため、併用して癌性疼痛を抑え込むことが推奨されています。局所の痛みで、NRS5以上の痛みに対しては、非常に有効な治療と考えています。適応判断が難しいと思いますので、こちらで詳しいお話をさせていただきますので遠慮無くご紹介ください。

代表的な癌性疼痛として、骨転移に関しては、椎体形成術(骨セメント)やTAEが有効です。これらは、放射線治療と作用機序が異なるため、放射線治療の有無にかかわらず施行可能です。放射線治療後の難治性疼痛にも有効です。また、骨以外でも、腹壁転移による痛みや腫瘍浸潤による痛みで、安全なfeederが確保出来る場合はTAEの適応です。また、膵癌などの難治性疼痛に対する内臓神経ブロックも可能です。

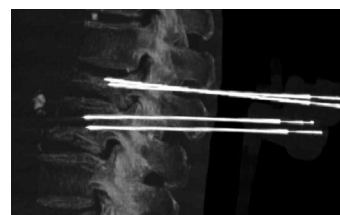
上大静脈/下大静脈閉塞による浮腫の改善には、即効性のあるステント留置がおすすめです。

癌性腹膜炎などで、経鼻チューブの長期留置を余儀なくされている症例は、PTEGによるチューブ経路の変更が可能です。

術後膿瘍、腹腔内膿瘍、後腹膜膿瘍、肝膿瘍、膿胸などのドレナージ、有症状巨大肝嚢胞などのドレナージ+焼絶術も症状緩和に有効な治療です。

カテーテルトラブルによる血管内異物除去も可能です。

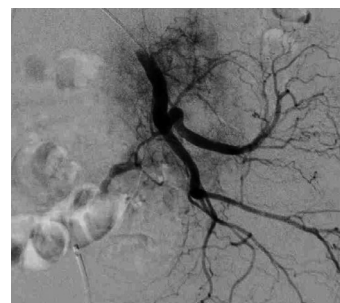
その他、様々な部位の経皮生検・入院手配も可能です。



椎体形成術(骨セメント)



内臓神経ブロック



骨TAE

入院の必要な手技は、当科にて入院予約も可能です！



社会医療法人

恵佑会札幌病院

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通9丁目南1番1号

TEL:011-863-2101(代表) FAX:011-864-1032

<https://www.keiyukaisapporo.or.jp/>



地域連携室をご利用ください ▶ TEL:011-863-8800 FAX:011-863-5666